

衛星データ利用者

大分県農林水産研究指導センター水産研究部

サービス提供者

ウミトン株式会社

実証事業概要(200文字程度)

本提案では水産物の生産を担う一次産業である養殖業に必要な海洋環境情報を、ユーザーである地方自治体や養殖生産者に実利用に耐えうるアクセスの容易さとデータの更新頻度をもって提供することを目指す。本目的の為、Tellusにて公開されているGCOM-Cの海洋観測データを活用し、実証事業にて設置する地上のマルチスペクトルカメラからの海洋観測データを統合することで、更新頻度に優れ、実利用に適した海洋環境情報サービスを開発実証する。

実証事業詳細(図表等を用いて説明)

水産養殖業では赤潮や濁りを行った海面の水質把握が魚の生育管理上重要であるが、既存の水質センサーによるでは観測範囲が限定的であり、また海上への移動やメンテナンスなど多大な労力を必要とする課題がある。衛星による海洋観測はこれらの課題を解決できるが、衛星機数や雲などの影響により観測頻度が十分ではなく実利用に耐えられない。本事業では、衛星データと地上に設置したマルチスペクトルカメラ及びドローンによる空撮による観測をTellus上で組み合わせることにより、衛星の広域性と地上観測の更新頻度という利点かし、Tellusによりユーザーからのアクセス性と容易にすることで、実利用に適した海洋環境情報サービスを開発実証する。具体的には下図に示す①GCOM-Cデータの活用、②マルチスペクトルカメラによる地上観測、③それらを組み合わせたTellusでのサービス開発と、データ利用者からのフィードバックを得る実証試験を行う。各要素技術のサポートには、リモートセンシング技術を有する名古屋大学とマルチスペクトルカメラ技術を有するジェネシア株式会社の支援を得る。

